

令和5年(2023年)5月12日
教育ひとづくり審議会資料
学 校 教 育 課

水泳授業の民間施設の活用等における児童アンケート結果について

1 趣 旨

平成30年12月19日付けで、東海市教育ひとづくり審議会より「学校プールのあり方について」の答申を受けた。その中で、民間施設等で水泳授業を行うことで、天候に左右されず予定どおり授業を実施できること、インストラクターの指導補助により効率よく指導ができるとともに、教員の負担軽減を図ることができる、としている。一方、課題として民間施設等までの移動時間や移動時の熱中症対策などの安全確保について検討が必要としている。

答申内容を踏まえ、水泳授業の民間施設活用等事業に係る効果と課題を整理する情報の一つとするため、児童を対象としてアンケートを行ったことから、その内容を報告するものである。

なお、水泳授業の民間施設活用等事業については、平成30年度、令和元年度に検証事業を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2、3年度は小学校の水泳授業は行われていない。

2 民間施設の活用等の状況

- (1) 民間施設の活用及びインストラクターによる指導補助を行っている小学校
8校(名和小・渡内小・平洲小・明倫小・富木島小・船島小・大田小・加木屋南小)
- (2) 学校プールへ指導補助を行うインストラクターを派遣している小学校
4校(緑陽小・横須賀小・加木屋小・三ツ池小)
- (3) 参考：民間施設の活用を行っている中学校(中学校は専門の体育教員が授業に入るため施設利用のみ)
2校(平洲中・富木島中)
- (4) バスを利用している小中学校(施設から距離のある学校)
名和小・渡内小・明倫小・富木島小・船島小・大田小・加木屋南小・富木島中
(大田小・加木屋南小は普通学級が徒歩移動、特別支援学級のみバス利用。)

3 令和4年度に実施した児童アンケート結果

※対象者は全小学校12校の5、6年生2,240人(内訳：5年生1,151人、6年生1,089人)
(5)のみ、民間施設活用8校の5、6年生1,576人(内訳：5年生868人、6年生708人)

(1) 水泳授業は好きですか

1. 好き 2. どちらかといえば好き 3. どちらかといえば嫌い 4. 嫌い

	1	2	3	4	未回答
合計 (人)	954	781	298	200	7
割合 (%)	42.6	34.9	13.3	8.9	0.3

(2) どのくらい泳げますか

1. ～10m未満 2. 10m～24m 3. 25m 4. それ以上

	1	2	3	4	未回答
合計 (人)	554	499	401	757	29
割合 (%)	24.7	22.3	17.9	33.8	1.3

(3) 令和4年度の授業で今までより泳げるようになりましたか

1. 泳げるようになった 2. 泳げるようにならなかった

	1	2	未回答
合計 (人)	1,733	451	56
割合 (%)	77.4	20.1	2.5

(4) インストラクターの教え方は分かりやすいですか

1. 分かりやすかった 2. 分かりにくかった 3. 教えてもらっていない

	1	2	3	未回答
合計 (人)	1,471	197	542	30
割合 (%)	65.7	8.8	24.2	1.3

(5) プールまでの移動は大変ですか (☆は徒歩移動、★は普通学級のみ徒歩移動)

1. 大変ではなかった 2. 大変だった (下に理由を書いてください)

	1	2	未回答
名和小学校	251	31	1
渡内小学校	130	11	2
☆平洲小学校	245	37	2
明倫小学校	65	0	0
富木島小学校	249	11	3
船島小学校	92	7	0
★大田小学校	66	70	1
★加木屋南小学校	206	92	4
合計 (人)	1,304	259	13
割合 (%)	82.8	16.4	0.8

- ・歩いていくのが大変だった。(雨、暑さ、荷物が多い、遠い、泳ぎ疲れ)

(6) 学校でのプール授業と比べて今年、民間施設で授業をしたプールの良かったところはありますか。もしあれば理由を書いてください。

- ・寒い日、雨天時でもできる。
- ・日焼けをしない。

- ・きれい（虫がいない、ごみがない、更衣室が広い、など）
- (7) プール授業の感想がありましたら自由に書いてください。
- ・もっと泳ぎたい。 ・インストラクターの教えが上手で泳げるようになった。
 - ・楽しかった。（少し泳げるようになり嬉しかった。）
 - ・どうでもいいことの指導もありつまらなかった。

4 アンケート結果等からの効果

- (1) 学校プールで実施した学校は1学期中に水泳授業を行うこともあり、天候不良等による振替えが難しいことから、学校によって6日から8日間中止となった。民間施設で実施した学校は、新型コロナウイルス感染症で学級閉鎖による中止はあったものの、天候や気温に左右されず、授業日程を消化できた。また、「きれい」、「日焼けをしない」といったコメントから、快適に授業を受けることができたものと推測される。
- (2) 専門的な知識のあるインストラクターが指導補助として授業に入ることで、水泳の苦手な児童へのアプローチがしやすかった、との教員の声も聞いている。「インストラクターの教え方が分かりやすかった」と回答した児童は65.7%おり、「インストラクターの教えで泳げるようになった」、「泳げるようになって嬉しかった」という自由コメントでの児童の声もあった。
- また、「水泳授業は好き」、「どちらかといえば好き」と回答した児童は併せて77.5%おり、「今までより泳げるようになった」と回答した児童は77.4%となったことから、単年度の結果では以前との比較することはできないものの、インストラクターの指導補助により、これまでより泳げるようになったことで、水泳を楽しむなどの効果もあったものと推測される。

5 今後の課題

(1) プールまで移動時間について

「プールまでの移動が大変だった」と回答した児童は、徒歩移動の学校で割合が多くなっている。現在、民間施設までの距離がおよそ800mまでの学校の普通学級は徒歩移動、また、およそ400mまでの学校は特別支援学級の児童も徒歩で移動することとしており、距離は徒歩移動の範囲内である。

そのため、負担軽減や熱中症対策として、徒歩移動の学校は可能な限り真夏は避ける、特に1年生の実施時期を調整するなどの対応が必要である。

(2) 水泳授業の実施時期について

令和4、5年度は2つの業者へ、それぞれ小学校4校・中学校1校の計5校ずつ委託し、実施期間が5月～11月末となっている。今後、民間施設を活用する学校が増加した際に、実施期間が冬季に延長する可能性があることから、令和6

【資料6】

年度より西知多医療厚生組合が設置する健康増進施設を含め、新たな施設を活用することで、実施期間が秋季までとなるよう、調整する必要がある。